

2015年6月4日

東京都知事 舛添 要一 様

神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会共同代表
大橋智子(大橋智子建築事務所)
上村千寿子(景観と住環境を考える全国ネットワーク)
酒井美和子(デザイナー・まちまち net)
清水伸子(一般社団法人グローバルコーディネーター)
多田君枝(『コンフォルト』編集長)
多見貞子(たてもの応援団)
日置圭子(地域文化企画コーディネーター・粋まち代表)
森桜(アートコーディネーター・森オフィス代表)
森まゆみ(作家・谷根千工房)
山本玲子(全国町並み保存連盟)
吉見千晶(住宅遺産トラスト)

メール info@2020-tokyo.sakura.ne.jp

ファクス 03-6380-8812

お願いと質問

私ども「神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会」は、2013年11月以来、新国立競技場建設に関して、景観、歴史、ヒートアイランド、リスクマネジメント、市民生活への影響、競技場としての機能、次世代への負荷等、様々な視点から検証してきました。そして神宮外苑の歴史的自然的社会的環境を保全し、1964年の東京オリンピックに使われた競技場を改修した上で使い続けることを、国や独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）に提案をしてみました。また、新国立競技場建設は、技術的にも、費用的にも無理が多く、2019年のラグビーワールドカップ及び2020年の東京オリンピック・パラリンピックに間に合わない可能性が高いことも申し述べてきました。しかし、文部科学省もJSCも一切私ども国民の声を聞こうとしませんでした。

ところが多くの人々に愛された国立競技場が解体された今になって、新たな競技場案が民間会社から提案され、工期も工事費も縮小されると報道されました。その直後に下村文部科学大臣が新国立競技場の屋根（遮音幕）はオリンピック終了後に建設する、1万5千席は仮設とすることを発表し、不可解な事態となっております。

舛添都知事は、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催都市の首長であると共に、オリンピック後におとづれる人口減少社会に対しても準備を怠ることのできない立場におられる

と思います。昨年より招致都市の首長としていち早く施設の見直しに取りかかり、この度は下村文部科学大臣に新国立競技場建設計画の杜撰さを指摘するなど、手腕を発揮されています。重責とは思いますが、次世代まで考えた都民の幸福のために、ご尽力いただきたくお願いいたします。

特に、今回の混迷の解決のため、以下についてご検討とご回答をいただきたくお願い申し上げます。

- 1 あまりにも問題のある現行案をいったん白紙に戻してください。そのうえで 民間会社による新国立競技場の提案、5月29日付の榎グループによる提言、あるいは現今のほかの提案などもふくめ公開し、知事の明言された通り、国民のオープンな議論ができるよう、イニシアティブを発揮してください。
- 2 文部科学大臣から遮音幕（*）はオリンピック後に施工するとお聞きになったのですが、この遮音幕はスポーツ（例えば芝の育成）のためには百害あって一利なしの設備で、民間のコンサート興行開催のために巨額の税金を投じることは間違っています。このことについてのお考えをお示し下さい。われわれは FIFA などの要求する陽射しや雨よけのための簡素な屋根まで否定するものではありません。
*遮音膜：現行案の C 膜は屋根材としては法的に許可されていないので遮音膜といいかえています。屋根は法的に不燃材で作らなくてはなりません、曲線の開閉式屋根を不燃材で作ることが出来ないため、JSC は「屋根」ではなく「遮音膜」と呼んでいます。観客席だけの屋根であれば、現行案のような強大な「キールアーチ」は不要です。
- 3 このたびの文部科学大臣との会見で 500 億円の負担を求められたようですが、巨額な都民の税金が大義なき巨大かつ不当に高額な巨大スタジアムの闇に投入される事がないようにしてください。
- 4 新国立競技場の敷地範囲に組み込まれている東京都所有の明治公園、霞ヶ丘都営アパートの権利関係は、今後、どのようになるのでしょうか。都民の財産である土地が知らないうちに売買、貸与されることのないようお願いするとともに、現在の状況と決着点についてご回答をお願いいたします。
- 5 新国立競技場のためのデザインコンクールのあと追いで、さしたる論議もなく決められた規制緩和（20㎡→75㎡）の責任を明らかにし、もう一度論議をし直し、神宮外苑の環境を守ってください。
- 6 現在、行なわれている新国立競技場に関する東京都の環境影響評価は専門家の目からみても、不十分です。ヒートアイランド、防災、避難地、生活道路、都民の居住権、資源の無駄遣い、騒音などあらゆる面からこの競技場の都民生活に与える影響を評価してください。

- 7 上記を踏まえて、競技場問題をゼロから見直し、知事のいわれるような、「経済的合理性と機能性を追求した」「快適で安全な」スタジアム建設のためにリーダーシップを発揮してください。

場合によっては、駒沢などの既存スタジアムを改修してメインスタジアムとし、神宮外苑の国立競技場跡地は緑地とする事も選択肢としてはありえるとおもいます。その方が環境時代のオリンピックとして、加えて IOC もアジェンダ 2020 で持続可能性時代に置けるオリンピックを提示しており、その新精神に見合ったものとなるでしょう。

当会には各分野の専門家も含め、3万5千人以上の賛同者がいます。2020年東京オリンピック・パラリンピックが、趣旨通り、東北の被災地の人々を励まし、福島の過酷事故解決に寄与することを望みます。重厚長大な豪華施設でなく、簡素でつつましく奥ゆかしい日本の美を象徴するスタジアムをさまざまな社会調査でも都民・国民は望んでいます。